

森繁 昇コンサート 4/26(日) 15:00~16:30

23回目の今年は春に行います。楽しいお話と歌は何度聞いても心に励ましが届きます。



【プロフィール】山口県生まれ。1973年 米国に渡り、イエス・キリストに出会う。翌年、クリスチャンになる。音楽を通してキリストの愛と救いを伝え始める。1986年 ハワイに拠点を移す。年間3~5回来日し、教会、道の駅、公園、通りなどで、ゴスペル(良い知らせ)を通して、永遠の希望を歌いながら各地を旅している。

▶ライブ配信を教会のホームページからご覧いただけます。

トリビア「故郷(ふるさと)」

唱歌「故郷(ふるさと)」は、大人から子どもまで誰もが親しみ、歌い継がれてきた、私たちの心に響く日本の代表的な歌です。

この歌の作曲者・岡野貞一(おかのていいち)は、幼い頃に父を亡くし、身を寄せた姉のところでもクリスト教に出会い、クリスチャンとなりました。そこで讃美歌に心惹かれ、音楽をこころざし、東京音楽学校に進学しました。やがて教鞭を取りながら、生涯を終えるまでの40年間、毎週日曜日、忠実に教会でオルガン奏者を務めました。

「故郷」の3節にこうあります、「こころざしを 果たして いつの日にか 帰らん…」おそらく、この歌詞を読んだ岡野は、そこに込められている風景の中に、神様が天に用意してくださっている、魂の故郷を見たのではないのでしょうか。そして、その故郷を望み見ながら、神様から与えられた使命を果たし、この地上の生涯を希望をもって生きていくことができるという信仰を、歌に込めたのではないのでしょうか。

キリストは言われました、「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じな

さい。わたしの父の家には住む所がたくさんあります。…わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとの迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。「父の家」とは、私たちが帰ることのできる、天の故郷のことです。実際の故郷は変わったり、失われたりします。再び訪れる機会はないかもしれません。しかし、キリストを信じる者は、天国を望み見ながら、希望をもって生きることができるのです。

今度あなたがこの「故郷」を歌われるとき、このようなことに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。きっとあなたの心の中に、天の故郷への憧れが芽生えることでしょう。

- 1 兎(うさぎ)追いしかの山 小鮒(こぶな)釣りしかの川
夢は今もめぐりて 忘れがたき故郷
- 2 如何(いか)にいます父母 恙(つづが)なしや友がき
雨に風につけても 思いいずる故郷
- 3 こころざしを果たして いつの日にか帰らん
山はあおき故郷 水は清き故郷



2026

4月号 224

宝塚栄光教会

計り知れない神の恵み

私の好きな讃美歌に、次のようなものがあります。「神の恵みはいと深し 底いも知れぬ海原に 夕日輝くガリラヤの 海にもまさり深きかな」(讃美歌492番2節)。神の恵みがどれほど深いものかを歌った讃美歌です。天地万物を創造された神は、私たち一人ひとりを愛しておられます。私たちは弱く、ちっぽけな者ですが、神は決して私たちを見捨てたりされません。

聖書の中に、古代イスラエルの王であったダビデの、このような言葉があります。「天が地上はるかに高いように 御恵みは主を恐れる者の上に大きい」(詩篇103篇11節)。天と地の距離は、測り知ることができません。そのように、神の恵みは計り知れないほど深いのです。

その深さは、私たちのところに来てくださったイエス・キリストに現されました。キリ

ストは罪のない神のひとり子でしたが、十字架にかかって死なれました。それは、私たちの罪のためでした。まことの神を知らず、いや知ろうともせず、自分勝手な歩みを続けてきた罪びとの私たちの身代わりとなって、キリストはいのちを捨てられたのです。

私たちが自分の罪を神におわびし、キリストが十字架で死なれたのは、この私の罪のためだったと信じるなら、私たちのすべての罪は赦され、きよい心にされ、喜びと平安が与えられます。「主を恐れる者」とは、キリストを信じ受け入れ、私たちを愛してくださった神の前に真実に歩む者のことです。そのような者の上に、神の恵みはさらに注がれていくのです。

私たちを愛し、計り知れない恵みを与えてくださる神を信じ、神に信頼し、神の愛に応えていく者とならせていただきますように。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

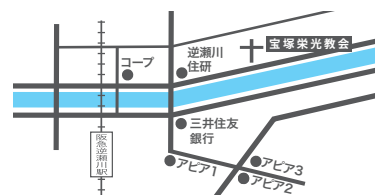
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40

希望のダイヤル(聖書のお話)
0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

インターネットでも
配信中





ハンカチノキ — ダヴィディア科 —

背の高い木である

10～20mぐらいにもなるという

その高い枝から ハンカチを吊るしたように見えるのだ

ハンカチノキは 中国の西南部に自生する 落葉高木である

標高2,000mほどの高地で 日当たりのよい地で育っている

19世紀後半 ジャイアントパンダの発見者としても知られる

フランスの神父・生物学者である アルマン・ダヴィッドによって発見された

ヨーロッパに伝わり 公園や街路で親しまれてきた

やがて日本には 1952年 東京小石川植物園に初めて入った

ハンカチのように見えるのは 花についた白い大きな2枚の苞^{ホウ}で

初めは 淡い緑色である

苞^{ホウ}の下に おしべやめしべだけからなる 球状の黒紫色の花を咲かせる

開花と共に 苞^{ホウ}は 白く大きくなる

そして花が咲き終わり 受粉が終わると 順次 苞^{ホウ}も色褪せて落下する

ハンカチノキは 信州松本空港のスカイパークでも 出会うことができる

心に知恵ある人は 聡明な人と呼ばれる

優しく語る唇は 説得力を増す